

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	科学技術英語	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	前田 晃寿	実務経験と その関連資格			
《授業科目における学習内容》					
臨床工学技士として必要な英語能力を習得する目的で、技術英検3級以上の取得を目指す。特に、文章全体の大意をつかめる英文読解力を身に付け、基本的な文法や単語力を習得する。					
《成績評価の方法と基準》					
授業ではサブテキストである「技術英語ハンドブック」から、指定箇所の英単語について選択式の問題を毎回小テストとして行い、これを総合評価のうちの10%分の平常点とし、出席点で20%、期末試験で70%として成績を出す。					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
「工業英語ファーストステップ」(日本工業英語協会)を教科書として用いるほか、「技術英語ハンドブック」(日本工業英語協会)をサブテキストとして用いる。					
《授業外における学習方法》					
毎回の授業で行う単語テスト対策として、指定箇所の英単語については選択肢から選ぶことができる程度の英語理解力を身に付けるため、授業外学習として意識しておく必要がある。					
《履修に当たっての留意点》					
英語への苦手意識をなくし、高校までの英語基礎力については身に付けておくこと。					
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	授業の進め方・技術英検の試験概要が説明できるようになる。	工業英語ファーストステップおよび技術英語ハンドブック	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。
		各コマにおける授業予定	授業の進め方についてのオリエンテーションを行う。また、技術英検の試験概要について説明を行う。		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	「ユニット1:レバーと機械」についての英文和訳や章末問題ができるようになる。	工業英語ファーストステップおよび技術英語ハンドブック	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。
		各コマにおける授業予定	てこの原理とモーメントについて学び、章末問題に取り組む。		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	「ユニット2:工業用材料」についての英文和訳や章末問題ができるようになる。	工業英語ファーストステップおよび技術英語ハンドブック	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。
		各コマにおける授業予定	ゴムの特性である弾性力の特徴について学び、章末問題に取り組む。		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	「ユニット3:栄養物」についての英文和訳や章末問題ができるようになる。	工業英語ファーストステップおよび技術英語ハンドブック	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。
		各コマにおける授業予定	タンパク質・炭水化物・脂質・ビタミン・ミネラルの5大栄養素について学び、章末問題に取り組む。		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	「ユニット4:原子の構造」についての英文和訳や章末問題ができるようになる。	工業英語ファーストステップおよび技術英語ハンドブック	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。
		各コマにおける授業予定	原子が原子核や電子で構成されていることを学び、章末問題に取り組む。		

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	「ユニット5:電気」についての英文和訳や章末問題ができるようになる。	工業英語ファーストステップおよび技術英語ハンドブック	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。
		各コマにおける授業予定	電気を通す電線についての素材や、抵抗・電流・電圧の関係を学び、章末問題に取り組む。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	「ユニット6:航空機と航空機エンジン」についての英文和訳や章末問題ができるようになる。	工業英語ファーストステップおよび技術英語ハンドブック	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。
		各コマにおける授業予定	航空機の分類やエンジンの種類、および燃料の特性を学び、章末問題に取り組む。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	「ユニット8:橋」についての英文和訳や章末問題ができるようになる。	工業英語ファーストステップおよび技術英語ハンドブック	高校までの基礎的な英単語や文法について復習しておく。
		各コマにおける授業予定	可動式の橋について種類と特徴を解説し、それぞれの橋の構造について学び、章末問題に取り組む。		